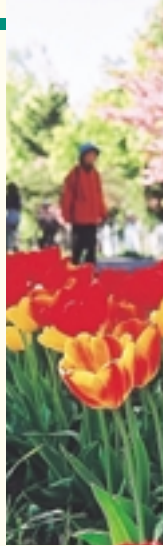


特集 白石サイクリングロード

しばらくの間汗が引くのを待つ。公園内には、遊び回る子どもたちの声が響く。今日は何だか時間がゆっくりと進む。気ぜわしい日常を離れ、のんびりと公園を眺めながらしばらくの間鬱々な時間を楽しんだ。

サイクリングロードの沿線には、万生公園のほかにも、白石南公園（南郷通一六丁目南）、白石東冒險公園（栄通一九丁目）などの公園があり、サイクリングロードを利用する人たちの休憩場所としても利用されています。また、サイクリングロード内にも休憩用のベンチが整備されています。



一休みを終えて、またサイクリングロードに戻る。歩き始めてからずっと心に引く掛かるものがあったのだが、ある所まで来た時、それが何なのかに気付いた。誰かが描いたのか、車道と交差するトンネルにある落書きだ。見ればそこだけではない。色鮮やかな緑や花が合無しだ。心無い行為にちよっと気持が収む。

近年、サイクリングロードの壁に心無い落書きが増えています。白石区でも定期的に壁を塗り直し

ていますが、こうしたケースは後を絶たず、対応に苦慮しています。また、ごみのポイ捨てなども散見されます。ゴミは必ず持ち帰りましょう。サイクリングロードは、区民の皆さん、利用者の皆さんの大切な財産です。いつまでも気持ちの良いサイクリングロードをご利用いただくために、ご協力をお願いします。

気が付けば、白石東冒險公園までやって来た。昔、国鉄の大谷地駅だった場所も今はたくさんの子どもたちで賑わっている。隣のサイクリングパークでは父親らしき人が男の子に自転車の乗り方を教えているのが見えた。まだ補助輪をとったばかりらしい。心もとないこぎつぷりと、真剣な表情がほほ笑ましい。しばらくしたら、この親子は並んでサイクリングロードを走っているのだろうかと考えていると、不意に男の子の自転車がスーッと走り出した。子どもの顔に弾けるような笑顔が浮かぶのを見ながら、サイクリングロードを再び歩き始めた。遠くに厚別川に架かる「虹の橋」が見える。橋の向こう側は厚別区だ。そこまで行くのかとちよっと迷う。脚の張りや腰の痛みが、明日は筋肉痛であることを告げている。必死で自転車のペダルをこいでいた子どもの顔が思い浮かんだ。背中を押されたような気がして、一歩足を踏み出した。

白石東冒險公園（栄通一九丁目）

旧国鉄大谷地駅跡地。隣接するサイクルパークは、一方通行の自転車広場で、自転車の練習には最適。トイレあり。

白石南公園（南郷通16丁目南）

平成13年完成の新しい公園。ピカピカの遊具がまぶしい。トイレあり。



虹の橋

厚別川に架かる橋で、ここから西は白石区、東は厚別区。欄干を飾る七色のモニメントが目印。



白石サイクリングロード

